

達成度管理シート

第2回

2022年 3月 ××日

研修生（育成対象者）	メンター	研修担当教員（参画機関）
------------	------	--------------

研修部カリキュラム（基礎科目：第2クール） 第2クールの目標：発展的な統計の科目の講義（15コマ）ができる
--

A：統計ベースライン特習Ⅱ	
到達目標	統計基盤知識欠落箇所を標準教材で修得する 統計検定準1級または1級程度の統計基礎知識を修得する 講義手法を修得する
講義形態	研修生とメンター全員参加型研修，メンターとのグループ研修
研修時間	全体研修：3時間（1時間×3人）（全4回） グループ研修：適宜
講義計画	1. 研修部による指定図書等から各自テーマを選んで講義を行う （30～40分で講義を行い，残り時間で議論ができるような講義の体験） 2. 参加者からの質問やサポートを受け理解を深める 3. グループ研修において，統計検定準1級または1級程度の知識習得を目指し学習をすすめる
テキスト等	必須テキスト 1. James G., Witten D., Hastie T. & Tibshirani R. (2021) An Introduction to Statistical Learning, Second Edition. Springer. 2. 統計検定準1級対応 統計学実践ワークブック. (330 pages)
研修生の目標	統計学を専門分野の学問に活かす 統計検定準1級程度の統計学の内容の全容を理解し応用する 基本的な講義の方法を模索する

B：統計教育力育成演習Ⅱ	
到達目標	専門分野の修士院生等を対象とする講義手法を修得する
講義形態	コンソーシアム公開模擬講義
研修時間	1コマ（質疑を含模擬講義60分）の実習
講義計画	1. 研修生・アシスタント・メンター等での講義研究 2. 講義準備のためのシラバス作成と教材作成

	3. コンソーシアム公開模擬講義の実施，振り返り，改善
テキスト等	メンターにより指定
研修生の目標	発展的な統計の科目の講義（15 コマ）ができる

C：統計研究力強化演習Ⅱ	
到達目標	専門分野の修士院生等を対象とする講義方法および研究指導を修得する
講義形態	参画機関でのFD活動
研修時間	参画機関により決定
講義計画	1. 各参加機関の研究計画にのっとりFD活動を実施 2. 研究指導のためのシラバス作成と教材作成など
研修生の目標	参画機関で求められている事に対応する

個別科目	
選択予定の科目： コンサルテーション演習 教材開発演習 共同研究演習	
到達目標	将来のキャリアに関わる教育・研究等を行う
講義形態	メンターの助言のもと教育・研究基盤を構築する
研修時間	1年～1年半
講義計画	メンターの助言のもと各自計画する
研修生の目標	教育・研究のバランスの取れた人材になる

<ul style="list-style-type: none"> ・研修生の到達目標（個別科目の内容も含めて記載）
<ul style="list-style-type: none"> ・メンターからのアドバイス
<ul style="list-style-type: none"> ・研修担当教員（参画機関）からの意見